

学校運営協議会議事録

校名	府立西浦支援学校
校長名	山崎 彩
准校長名	鈴木 亮彦

開催日時	令和6年2月16日(金) 10:00~11:40
開催場所	大阪府立西浦支援学校 校長室
出席者(委員)	加藤委員、今西委員、葉山委員、八木委員、荻野委員
出席者(学校)	山崎校長、鈴木准校長、中村事務長、三宅教頭、榮教頭 筒井進路指導主事、川口首席、小池首席、小海首席
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価 令和6年度学校経営計画及び学校評価
備考	

議題等(次第順)
(連絡・報告) ・令和5年度進路指導についての報告 ・保護者への連絡方法の改善策について ・10周年記念PTより活動報告 ・農福連携PTより活動報告 (協議案件) ・令和5年度学校経営計画及び評価について(小中／高) ・令和6年度学校経営計画について(小中／高)
協議内容・承認事項等(意見の概要)
【承認事項】 ・令和6年度学校経営計画中期的目標について、承認を受けた。 【協議内容】 《令和5年度学校経営計画及び評価について》 (校長より) ・教員のストレスチェック集団分析結果が昨年度より悪化している。仕事の質・量を組織として調整し、負担感を抑制する。 ・近隣大学と連携して幼少期からの性教育の取組みを進めており、教員の研修に加えて保護者への助言も行っていく。 ・今後の中核を担う人材の育成は、今年度は十分にできなかった。令和7年度に向けて校務分掌組織を整理し、教員の力を十分に発揮できる環境づくりをしていく。 (准校長より) ・ぶどう栽培の準備は着実に進んでいるが、教員の意識が高まっていない。学校全体の取組みにしていことが課題。 ・高等部卒業時の進路確定率が目標に満たず、不登校傾向のある生徒への進路決定支援が継続課題。 ・自立活動の工夫に関する教員の自己診断結果が目標に満たず。次年度は研修テーマに自立活動が選定されている。 ・受講した研修の内容を全教員に直接話す機会が作れず、文書にて伝達をしたが十分に伝達できていない。伝達方法の工夫を行う。 《令和6年度学校経営計画について》 (校長より) ・中期的目標に情報活用能力の育成、一人ひとりに応じたよりよい進路実現、居住地校交流の充実等を記載することにより、取組み内容をより明確にした。 ・危機管理体制の充実として、SPS(セーフティプロモーションスクール)認証に向けた取組みを進める。 ・令和7年度に教育課程の改編を行い、教育活動を充実させる。

(准校長より)

- ・ぶどう栽培実習を充実させる。地域のぶどう農家での実習も年間5回を目標に実施していく。
- ・卒業時に社会から孤立しない環境をつくるとともに、不登校傾向の生徒の進路決定率を向上させる。
- ・早期から生徒、保護者へ進路情報を提供し、一人ひとりに合った進路選択を促す。

《委員より》

- ・自立活動が支援教育では重要。地域の小中学校でも自立活動を充実させようとしているなか、より支援学校のセンター的機能の充実が期待される。
- ・学校の先生方は責任感が強いので、自己診断回答時の基準が厳しくて数値が低くなりがち。様々な素晴らしい取組みをされているので、楽しみながら周囲を巻き込んで取組を進めてほしい。
- ・農福連携の取組とそれに伴う小中高一貫性のあるキャリア教育について、充実した取組みとなるよう期待している。
- ・子どもが自立できるような学校づくりにこれからも期待している。
- ・高等部卒業後の進路結果だけにとらわれず、小学部・中学部から働く意識が徐々に高まっていくような一人ひとりを大事にした教育活動を行ってほしい。

次回の会議日程

日時	令和6年6月下旬 10時開始予定
会場	府立西浦支援学校 校長室